

廈門大學圖書館珍藏
主編：季嘯風、沈友益

中華民國史史料外編

——前日本末次研究所情報資料

日文史料
第二十九冊

廣西師範大學出版社

目 要

AUG 26 1937 上海中立地帯設置案 南京側が巧みに利用

國英大使に働きかけ

【上海二十五日發同盟】南京政府は昨二十四日駐英國大使ヒューゲッセンに對し英國政府提議案の日支雙方軍隊撤退に依る中立地帯設置案を原則的に承認する用意ある旨を通告した右は

AUG 2 1937 我海軍航空部隊 全面的活躍開始

低

【上海二十四日發同盟】午後八時第三艦隊報班發表
一、海軍航空部隊の活躍本日
海軍〇〇航空隊は崑山協定太倉方面を爆撃し陸軍隊並に陸軍の戦闘に協力し裝甲車數十台裝甲列車一、台を爆撃し尙再度に互り崑山鐵橋爆撃を試み之を完全に破壊せり
二、海軍〇〇航空隊は本日

陸軍の戦闘に協力し永安紡績並に吳淞鎮を爆撃し多大の損害を與へたり
三、海軍〇〇航空隊は寧波安慶を爆撃し多大の損害を與へたり
一、陸軍隊の戦闘連日にし租界線を確保せる陸軍隊は本日各方面に互り幾分進出せり

AUG 25 1937 上海東部北部戦線

英伊兩國の

派遣軍増加

【上海二十五日發同盟】十四日の東部戦況は虹橋クリーク以東燒失區域並び東部租界線内に殘留し居たる敵は一兩日中より頓に食糧の欠乏を來し戰意を喪失四五日間一粒の飯にもありつけぬ飢餓の極に達し食を求めて降伏し來る部隊續出し目下殆んど掃蕩し盡され公大第一工場より租界線に沿ふて我軍これを確保し東部工場地帯は安全となつた又北部戦線は八字橋方面江南方面は異狀無く比較的平穩である。

【香港二十四日發同盟】シガポール駐屯ミッドルセックス聯隊の一大隊七百五十名は昨夕刻メネラス號で香港到着上海派遣軍の空兵舎に入り待機することとなつた、尙カルカッタ來電に依ると香港上海派遣の爲待機中の同地第五、第六ラフタナ小銃隊は昨日極東に向け出發した。又第四、第十九ハイデラバット聯隊も近く

出發の旨。
【アジニアベバ二十四日發同盟】伊太利政府は上海の現地居留民並びに權益保護のためアジニアベバ駐軍第十

目 要

AUG 26 1937

敵死傷一萬突破
前線の士氣沮喪駐日ソ聯大使
外務省を訪ふ

【東京二十五日電】駐日ソ聯大使は二十五日午後一時外務省に謁見し、同四分辭去した。

【上海二十五日電】各戦線に亘り我が軍の猛攻に遭ひ後退した敵軍は多数の死傷兵を收容し終へず之を野天に遺棄したまゝ、一歩退却してゐるが戦線より共同租界内病院へ後送される支那軍重傷兵は昨日だけで三百名に上り今日までに病院で手當を受けつゝあるものゝみでも一千四百三十名に達してゐる二十四日支那側赤十字社調査に依ると大連錦州座瀋陽戦病院本部に收容された負傷者数は既に二千五百名と發表されてゐる。

右の數字より見ると支那軍の損傷は收容不可能のもの野戦病院租界病院支那街各所の病院に收容のものを合して一萬名を突破したものと見られ今や支那軍の士氣全く沮喪してゐる。

上海の敵は
蔣直系部隊

【上海二十四日電】各方面の陸軍敵前上陸部隊に對し頑強に抵抗を續けて敵は我が方で因襲した敵軍の副將により蔣介石直系の南京軍官學校出身士官及び生徒が多数を占めてゐることが判明した。

柴北部隊猛進
敵陣地を占領

【上海二十五日電】安南部隊の指揮の下に柴北部隊は二十五日午前六時、第一線前線の敵に攻撃を開始し我が軍の猛攻に遭ひ敵は西に緊迫し廣大なる區域を占領した。この敵陣地は多数の損害を蒙り我が部隊は散を蒙りて敗走し柴北部隊は無人の境を行く如く突撃又突撃進前後四時間一先づ豫定線を確保して陣地を

AUG 26 1937

上海在住の殘留邦人
後方警備に不眠不休

【上海二十五日電】日で約一千が引揚げることになり支開戦以來上海に留るものなつた現在在留邦人数は約同胞中二萬四千は内地へ引五千名でその大半は我が軍を揚げたが更に二十五日の後方警備として不眠不休十六日出航の長崎丸上海丸の活動を續けてゐる。

AUG 26 1937

中 日

我が空軍再度 南京を空襲す

敵飛行場を痛烈に爆撃 南京郊外で又も空中戦

【東京二十五日發同盟】海軍省二十五日午後三時發表我が國海軍航空部隊の○
○は昨二十五日午後九時半頃南京城外飛行場を爆撃し多数敵機飛行機を破壊突進せしめ多大の損害を與へたり本急襲に於て敵機は敵弾數發を受け一名の負

傷者を生じたるも全機無事歸還せり。
【上海二十五日發同盟】第一、海軍航空隊は二十五日午後九時半頃南京城外飛行場を爆撃し多数敵機飛行機を破壊突進せしめ多大の損害を與へたり本急襲に於て敵機は敵弾數發を受け一名の負

二、陸戦隊方面に特に異状はないが租界より戦線のある全線にわたり進出しつゝ、
三、昨夜午後十時頃敵機二機の空襲あつたが我が猛烈な砲火を沿ひ撃退され江灣の敵陣地に爆弾を落して遁走した。

AUG 26 1937

陸軍部隊と協力 目的達成を期す

上海海軍見解を表明

【上海二十四日發同盟】海軍射撃と航空部隊の爆撃と相軍では陸軍部隊が上海に上陸してよく我が守備線を確認したの二十四日午後五時左の如き見解を表明した
一、八月十三日以来旬日以内に我が上海特別陸戦隊は十數倍に達する支那軍の包圍攻撃に對し黃浦江上に於ける我が艦隊の掩護
放火狙撃 等後方擾亂

江南の陸軍進撃開始

AUG 23 1937 申 辰
**上海・陸の精銳
 夜襲戦を展開**

【上海二十四日發同盟】○居るもの、如く市内某ビル
 ○及び○方面の陸軍は頑
 強に抵抗する敵を逐次所定
 の方向に壓迫しつゝ敵前上
 陸第二夜を迎へたが戦場
 は猛烈な夜襲戦が展開され

陸軍の猛攻撃に 敵一齊に退却す

【上海二十五日發同盟】我
 陸軍は漸次敵を壓迫前進中
 で殊に○部隊は昨二十四
 日既に某重要地點を占據し
 北及び楊樹浦方面に在る敵
 の背後を脅威する態勢に出
 たので支那軍は同方面に續
 々援軍を輸送阜軍の進出を
 阻止せんとした爲二十四日
 來隨所に壯烈な白兵戦が展
 開されてゐる。
 向今朝の外宇新聞は閩北
 北岸車場附近の支那軍は形
 勢非なりと見て同地の守備
 を保安隊に一任撤退を決意
 した模様だと報じてゐる。

空軍援助の下に 陸軍の進撃順調

【上海二十五日發同盟】二
 十三日未明北方○に敵前
 上陸を敢行した我○部隊
 は敵の頑強なる反撃を示し
 同日○道路を確保すべく
 ○を占據し目下左翼右翼
 中央各部隊共我空軍の援護
 爆撃の下に果敢な進撃を續
 け本日殆んど所期の地點○

○に到達した模様
 である同方面の敵は永久的
 な壕陣地に據り且つ空軍の
 援助の下に頗る執拗な抵抗
 を續けてゐるが我勇敢なる
 ○部隊の猛烈な進撃に依
 り漸次後方に退却し戦況は
 我方に有利に展開してゐる

を策し我軍の苦心は想像に
 余りあるものあり殊に十七
 日に至り我軍の擔當する租
 界警備區域内の工部局警官
 の夜間配備撤退を見るに及
 び同居居住民の動搖甚しく
 我軍は極めて困難なる立場
 に處せざるも全線の

將兵は壯烈なる決意

を以て士氣益々奮ひ連日連
 夜不眠不休守備線を確保し
 敵に反撃を加へて多大の損
 害を與へり

我が居留民の態度は常によ
 く冷靜を保ち帝國官憲の意
 を體し各々その職分に應じ
 て守備線背後の支援に任じ
 てあらゆる努力を傾注し軍
 官民その苦樂を共にし眞に
 協力一體我が

民族傳統

の精神を發
 揚せり今や既に○方面に
 我が精銳なる陸軍の上陸を
 見海軍將兵の士氣愈々揚が
 り協力聯繫よく所期の目的
 貫徹を期しつゝあり。

上海戦の勝敗は

東京二十五日發(同盟) 信ず可き調査に依ると支那軍は砲を有せぬ師團が多く之れを有するものも精々十二門乃至十四門過ぎず而も其の多くは小口径のものである 同様機械科部隊も頗る貧弱で戦車の如きは開戦以來約二十二台しか戦線に出てゐない之れ要するに支那軍は兵數に於ては頗る優勢だが精銳な日本軍に對抗することは困難と見る外無く殊に空權が殆んど日本側の手に歸した以上支那軍の勝味は全く失はれたと同様で今後問題は支那軍が日本軍の猛撃をどの程度まで持ちこたへ得るかにかゝつてゐると見る可きである

已に決したも同然

日支兩軍の前線

僅か五百米の近距離

楊樹浦方面の敵は背部の脅威に後退

◆支那軍の弱點は砲兵

上海二十五日發(同盟) 外國軍人方面の觀察に依れば支那軍の弱點は砲兵にあり之れが有る可き日支の決戦に於て勝敗を決するものと見てゐる 二十四日現在の推定では支那軍は上海、杭州間の十二個師を配置 其中五個師約百萬第一線 出動してゐる 上海對岸の浦東側にある兵力以外約一個師の軍隊が呉淞特設した海側の支那軍前線は佛和界以外の境界線から租界線に沿つて蘇州河河岸より北河南路、北停車場に及んでゐる 北停車場より東北にかけて日支兩軍の前線が極めて接近し虹江路、寶興路、八字橋方面では兩軍僅か五百米の近距離で對峙してゐるところもある 楊樹浦方面では日本陸軍の上陸に脅威を感じた支那軍は租界内から殆んど全部撤退し租界の東端から寶山縣にかけての線を死守せんとする模様である 然し此の線は過去數日間日本海軍の猛撃を受け到底維持出来ぬ状態にある

敵の空襲を撃退

上海上空に現はれた敵空軍二機を我が海軍機一機が追跡中部小學校上空附近で追跡する中戦を演じ敵一機は墜落、残り一機は聞北上空に向つて遁去、我が機は荒鷲の如く猛烈之れを追撃中

上海二十五日發(同盟) 午後四時二十分

目 要

我陸軍〇〇部隊

敵陣の背後を衝く

阻止援軍と猛烈な白兵戦

聞北方面の敵は退却中

AUG 26 1937

上海二十五日發(同盟) 我が陸軍は漸次敵を壓迫前進中で殊に〇〇部隊は昨二十四日既に某重要地點を占據聞北及び楊樹浦方面にある敵の背後を脅威する體勢に出たので支那軍は同方面に續々援軍を輸送皇軍の進出を阻止せんとした爲め二十四日來壯烈な白兵戦が展開されてゐる。なほ今朝の外字新聞は聞北北停車場附近の支那軍は形勢非なりと見て同地の守備を保安隊に一任撤退を決定した模様たと報じてゐる

南京第八回目空爆

AUG 26 1937

支那空軍は自國軍を爆撃

上海二十五日發(同盟) 第三艦隊報道班午前九時發表
一、海軍〇〇空襲部隊は二十四日午後九時半八度
南京爆撃の壯舉を敢行し城外飛行場以待機する敵機多數を焼き多大の損害を與へた

二、砲戰隊方面は特に異常はないが我陸戰隊は租界より砲線を全線に互に進出した。ある
三、昨午後十時頃敵機二機の空襲あつたが我猛烈な砲火を浴び撃退され江灣の敵陣地爆弾を落して遁走した

上陸部隊に抵抗せるは

蔣直系の軍官學校生徒

上海廿四日發(同盟)
○方面の陸軍敵前
上陸部隊に對し頑強
に抵抗を續けてゐる
敵は其の屍體の服裝に依り蔣介石直系の南京軍官學校出身及び生徒が大
多數を占めてゐることが判明した

崑山鐵橋を爆破

海軍航空隊の活躍

上海、二十四日發(同盟) 午後八時第三艦隊報道班發表
一、海軍航空隊の活躍

(一)本日海軍○○航空隊は崑山、太倉方面
を爆撃し陸戦隊並びに陸軍の戦闘
に協力し裝甲車數十台、裝甲列車
一台を爆破し、なほ再度互り崑
山鐵橋爆破を試みこれを完全に破

壊せり

(二)海軍○○航空隊は本日陸軍の戦闘に協力し太
安防線並びに吳淞鎮を爆撃し多大の損害を與へた
(三)海軍○○航空隊は寧波慈谿を爆撃し多大の損
害を與へたり
一 陸戦隊の戦闘 租界線を確保せる陸戦隊
は本日各方面に亘り幾分進出せり

日

中南支沿海一帯の

海岸線を斷乎封鎖

支那側公私船の通行を遮斷

AUG 26 1937
紙 紙

長谷川司令長官重要宣言

上海二十五日發(同盟) 第一〇艦隊司令長官 長谷川長官は二十五日午後四時左の宣言を發した

本官は昭和十二年八月二十五日午後六時より北緯二十二度四分、東經百二十一度四十四分より北緯二十三度十四分、東經百十六度四十八分に至る中華民國沿海を本官の指揮下に屬する海軍力を以て中華民國公私船の通行を遮斷することを宣言す。本遮斷は中華民國船に對しては總て其の効力を有す可く第三國船及び帝國船舶は遮斷區域内に入出入するも妨げず。

自衛上當然の措置

第三國船舶は自由

AUG 26 1937 朝



那側は自衛上當然の航行を遮止されるので物資の供給が妨げられ、支那側は自衛上當然の航行を遮止されるので物資の供給が妨げられる。右航行遮斷の結果支

けふ外務省聲明せん

と外務省と協同の上、外務省より右に關する聲明を發表するものと見られる

長谷川司令長官は二十五日午後八時海軍部内に米内海相を訪問、打合せを遂げたが二十六日海軍省

目 要

我國財界を擧げて

愛國運動實施

非常時對策に就き

經濟聯盟奮起す

AUG 26 1937

東京二十五日發(同盟) 財界
では政府の執らんとする連戦
時經濟體制を全面的に支持し
之に呼應して一大愛國運動
を展開す可く豫てより全國各

業聯盟、東京商工會議所、日
本經濟聯盟などの有力な
經濟團體の首腦部は
寄り、協議中 あつたが右
の財界有力者は、十五日丸の
内銀行俱樂部で財界有志懇談
會を開催、結城、日銀、中野
田、飯塚、村田、宮島、中野
磯村、藤原の諸氏出席の上、
質屋藏相、吉野商相を招請し
て兩大臣より來る臨時議會に
上程せんとする戰時經濟立法
に對する政府當局の方針に關
し説明を求めたる後
質疑應答を行ひ次い
で財界として執るべき非常時
對策に關し種々協議した結果
財界としては舉國一致の實を
舉ぐべく日本經濟聯盟が中心
となり主として六大都市の
有力經濟團體と聯絡して愛國
運動を展開することに方針を
決定した、而して之れが準備
の爲め廿七日日本經濟聯盟では
常務理事會を開き郷
誠之助氏を初め其他十餘名の
各常務理事出席の上具體的運
動方法並びに非常時對策の方
針を打合せることゝなつた

徹底的に――

南京政府應懲

第一議員俱樂部申合せ

東京二十五日發(同盟) 第二一時より本部に於て會合、所
議員俱樂部では二十五日午後、國代議士全部參集望月、安達

兩長老より二十四日の政府と
諸貴族との懇談會の結果を報
告し、次いで對支問題に就き
種々懇談した結果、政府の態
度方針を絕對支持するに決し
た、更に今次重大時局の發生
原因は悉く抗日政策を主體と
する南京政府にあり、宜しく
之れが懲罰を目標に徹底的解
決を企圖すべきである旨の
申合せを爲して午後二時半散
會した

末次研究所

目 要

AUG 26 1937

宗 概

蘇聯將校が察哈爾で
支那正規軍を指揮すソ聯の對支干涉の數々を
獨アンダグリフ紙が列擧す

【ベルリン二十五日電】獨アンダグリフ紙は廿四日の紙上に「支那を覆ふモスクワの陰謀」と題する論説を掲げ、ソ聯の對支干涉の事實を次の如く列擧してゐる。

一、ソ聯は察哈爾に約五十名の將校を派遣し、五萬の支那正規軍を指揮せしめてゐる。

一、外蒙にソ聯空軍を集結し、極東軍司令官ブリュツヘン將軍はウランバートルに待機してゐる。

一、全支赤軍十三萬の司令官たる毛澤東は八月十四日香月司令官に北平撤兵の最後通牒を發し、回答に接せざるや宣戰を布告した。

一、上海ソビエト總領事館は支那軍と聯絡發火信

號を行つた。

一、蒋介石は關知せぬと稱するが、國民政府の一部政治家はソ聯より武器購入契約を確認し、共產黨と結ぶ民族戰線を唱へ、立法院長孫科の如きはソ支同盟の主張者である。

一、國民政府の陳果夫、陳立夫は宋慶齡、馮玉祥等と共に赤色人民戰線に加擔してゐる。

次いで同紙は左の如く述べてゐる。

モスクワが極東の紛争に捲入するため、軍人や記者、其他多數の手先などを所有してゐることは明瞭で、英米兩國はボルシェビズムの極東攻勢を十分考慮しなければならぬ。

AUG 26 1937

日支紛争に關する
米國の態度に失望

宗 概

【ロンドン二十四日電】英外相は廿五日イェンバレン外相以下在京閣僚を召集して臨時閣議を開き、上海事變を中心として、開議を遂げることとなつた。

が米政府の意向が分明しないに鑑み、居留民保護に關する新しい手段以外に重要な方法は行はないと見られてゐる。

事變を繞ぐる英國の態度

英國政府は日支紛争勃發以來、その對策に關し米國政府と意見を交換しつつ、密接な連絡を保つて來たが、米國の態度に失望してゐるものゝ如く、一般に米國政府は自己の責任を限定し、國際的イニシアテイブをとるやうな態度は極力回避せんとするとの印象を與へてゐる。

文字通りの肉弾戦

遂に居庸關を奪取

釣瓶撃ちの敵の猛射の中を突撃又突撃

AUG 26 1937

無敵

戦闘状況に就き

部隊長語る

居庸關二十四日發 察省境の地點たる天險居庸關を奪取は歐州大戰に於けるピレーネ山脈以上の激戦ぶりを示したと同戦況を指揮せる〇〇部隊長は當時の壯烈なる肉弾戦の様相に對し次の如く語つた
廿一日我軍は居庸關第三望樓に攻撃を開始したが敵は城壁上から手榴弾、機關銃を雨あられの如く射撃し強に抵抗し容易に陥落しない。つゝ先登りの山を我將兵は這ふやうにして登つて行つたが此の間敵は絶え間なく射撃を加へるので文字通りの惡戰苦闘であつた。然、我將兵は是に屈せず勇猛果敢に突撃の結果遂に第三望樓を陥し入れ、續いて第二望樓の攻撃に移つたが第三望樓以上に難攻を極め而も敵は死物狂ひになり釣瓶打ちの猛射だ、無敵な様相を出す事を許さぬ。第二回の突撃を行ふべく進攻を始めたが敵は仲々退却の氣を見せず上方から山を這ひ上る我軍目掛けて手榴弾を絶え間なしに投げ續ける。そこで我軍は已むなく一時攻撃を停止し敵の

手榴弾の無くなる時機迄待つて一舉に突撃に移り遂に第二望樓をも占領した、續く第一望樓を奪取は實に絶えたるもので肉弾又肉弾敵は手榴弾が無くなるで見ると彈丸の代りに岩石を上から落し我兵の突撃を阻止するやら身を躍らせて谷間に血路を開かんとする。やら前面山腹に向つて全くの白兵戦を展開、我將兵は戰友の屍を乗り越え越え、突撃又突撃遂に敵陣に躍り込んだ、山頂部と取つ組んだまゝ千仞の谷底に轉げ落ちる兵士、跳崖を振るつて敵兵をなぎ倒す兵士、谷間に轉げ落ちながら瞬間『天皇陛下萬歲』と叫んで落ちて行つた兵士の聲は未だに耳底に残つてゐる、壯烈無比の斷腸の思ひであつた、斯くて勇猛果

目 要

頑強なる敵の抵抗を排し

豪雨泥濘中を突進

各部隊進撃の跡を見る

難攻不落を誇つた要害居庸關附近山嶽攻防戦は近世戦史に見ない大激戦であつたが熾々たる峻険に據つて

頑強

に抵抗する支那

軍を見事に撃破之を潰走せしめた我軍の功績の裏面には微密なる戦略と勇猛が存在し、
るた、即ち南口嶺を奪取

し破竹の如き勢ひで平綏線を中心とする敵を壓しつゝ前進せる我軍は正面に鈴木部隊を左方山嶽地帯に阪田支隊を迂迴攻撃せしめたのであるが阪田支隊は辻大尉指揮の下に

豪雨

泥濘、鏑の齒の

の危機と戦ひ艱難々押しに山嶽を乗辛苦血の滲むやうな努力を續けつゝ、途中大場部隊と合流し遂に長城線の一角に達した、斯くて我軍は南方へ戦線を擴張し長野部隊、山田部隊、飯原部隊は山嶽地帯を齊に進撃

折柄

の悪天候を憐れ

山脚に進出して懷來の一角を獲取、正面の鈴木部隊も猛撃亦猛撃の結果遂に居庸關を陥落させたもので
今次 北支事變中最初にして最も壯絶なる山岳戦である

北支戰線

一段と進捗

嵐の前の静けさを保つてゐた北支戦線も一兩日來遽かに活潑となり平綏線方面に於ては長城線唯一の要害居庸關を陥落させ懷來方面に進出したのを始めに平漢線方面は良郷附近より房山の敵を掃蕩津浦線方面では靜海を奪取する等惡大候にも拘らず空軍の活動と相俟つて其の活動は目ざましきものあり豫定の戦績を着々と擧げつつある

AUG 26 1937

版 冊

退路を斷たれた

中央軍五ヶ師七萬

我軍の疾風迅雷的猛攻に

其全滅程近し

目 要

冀東省境山嶽地帯及び察哈爾省内に配置され我軍に抵抗中の中央軍は第四師、九十四師、二十一師、七十二師、八十四師の五ヶ師約七萬であるが空陸相呼應しての我軍の疾風迅雷的猛撃に多大の損害を受けつゝあり既にその退路を斷たれて今や袋の中の鼠同然となつて居るが是ら中央軍の全滅も程近きに在り皇軍の意氣は天に冲するものがある

我○○機大同を猛空爆

○廿四日發(同盟)
我が○○機の空爆は依り大同驛及び城内兵營は完全に粉碎され旺んに黒煙に包まれてゐる

我空軍の威力に

各地敵兵狼狽潰走

孔家莊及懷來方面を爆撃

○二十四日發(同盟) 我が精銳なる空軍部隊は二十四日午後二時張家口西方約五キロの孔家莊支那軍に對し猛烈なる爆撃を敢行の徹底的大打撃を與へ更に同三時機首を懷來に向け進撃同地を爆撃した。敵は我が空軍の威力に抗し兼ね算を亂して潰走しつゝあり

我部隊の

孤立を救援

AUG 2 1937

AUG 26 1937

潰走の支那軍を 蒙古軍強行急追中

南口方面長城の山嶺中にて阪田支隊の彈藥糧食を補給後消息を絶つた我飛行機塔架の栗原大尉、中山小尉は悪天候のため

遭難
二勇士の勳功

遂に壯烈なる戦死を遂げたものと見られてゐるが兩勇士は當時地上部隊が峻険な地勢に依り後方から彈藥糧食補給の如くならず孤立に陥入らんとしたのを見て敢然救援飛行を申出で雲低く垂れたる山嶺地帯を飛翔、視界定まらざる悪天候に一旦引返したものの地上部隊の窮苦を思つて再び

尉の勇名を馳せた人、中山小尉は所澤飛行學校出身で恩賜組の一人、優秀なる飛行將校兩氏を失つた事は痛く惜しまれてゐる

長城線一帯

を巡回又

巡回阪田支隊を発見するや遂に之に彈藥糧食投下の任務を果たし歸還飛行の途次遂に遭難するに至つたものである栗原大尉は曾ての上海事變に於て敵陣に切り込み果人

消息不明中の栗原機

壯烈敵地内に墜落が

地上部隊に彈藥糧食投下後

南口攻撃の犠牲

AUG 26 1937

無敵

(支那駐屯軍司令部廿五日午前十時發表) 栗原大尉、中山少尉の塔架せる飛行機は十五日南口方面に出動、山地内の密雲をおかし低空にて坂田支

隊に彈藥及糧食の投下を果行したるの消息不明なりしが敵地内に墜落、壯烈なる戦死を遂げたものと見られし

及び○○の線に沿ふ地區より敵の兩翼を包圍し二十四日拂曉より攻撃を開始し、又一方日本軍も右翼にて參加戦力を連ね○○より出動敵に猛烈な攻撃を加へた、支那軍はこの空陸よりの

猛烈な攻撃により屍體二千を遺棄して潰走した、蒙古軍は目下敵を急追中である

末次研究所